

製品名: NGFR p75 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab14679

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	NGFR
別名	NGFR; TNFRSF16; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 16; Gp80-LNGFR; Low affinity neurotrophin receptor p75NTR; Low-affinity nerve growth factor receptor; NGF receptor; p75 ICD; CD antigen CD271
遺伝子 ID	4804.0
SwissProt ID	P08138
免疫原	抗血清はヒト TNFR16 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

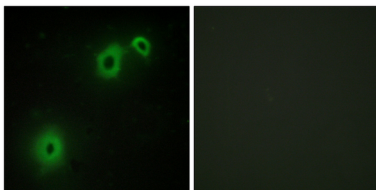
背景

神経成長因子受容体は、保存された位置に6つのシステイン残基を含む40アミノ酸の繰り返し配列を4つ含む細胞外ドメイン、続いてセリン/スレオニンに富む領域、単一の膜貫通ドメイン、そして155アミノ酸の細胞質ドメインから構成されています。システインに富む領域には神経成長因子結合ドメインが含まれています。[RefSeq提供、2008年7月]、ドメイン: デスドメインはRANBP9との相互作用を担います。、ドメイン: 細胞外ドメインはNTRK1との相互作用を担います。、機能: NGF、BDNF、NT-3、およびNT-4に結合する低親和性受容体。神経細胞の細胞死だけでなく生存も媒介します。、PTM:N型およびO型グリコシル化されています。、PTM:O結合型グリカンは、1つまたは2つのNeuNAcによって伸長したGal(1-3)GalNAcコアで構成されています。、PTM:セリン残基がリン酸化されています。、類似性:1つのデスドメインを含みます。、類似性:4つのTNFR-Cys繰り返しを含みます。、サブユニット:ホモ二量体;ジスルフィド結合。p75NTR関連細胞死実行因子と相互作用します。TRAF2、TRAF4、TRAF6、PTPN13、およびRANBP9と相互作用します。TRAF6を介して、NGFRをNTRK1にブリッジするSQSTM1と相互作用します。BEX1およびNGFRAP1/BEX3と相互作用します。KIDINS220およびNTRK1と相互作用します。NTRK1およびKIDINS220と三元複合体を形成し、この複合体はKIDINS220の発現レベルに影響を受ける。KIDINS220の発現増加は、NGFRとNTRK1の結合を減少させる(類似性による)。LINGO1と相互作用する。

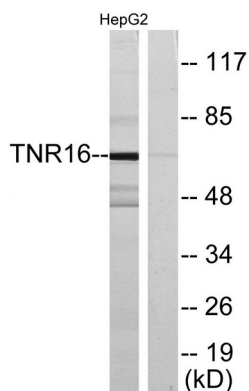
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;神経栄養因子;

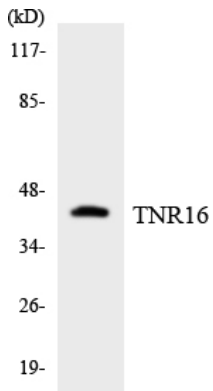
画像データ



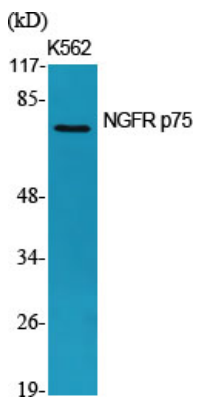
TNR16抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



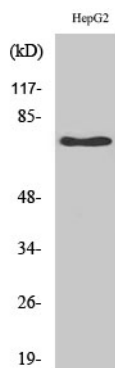
TNR16抗体を用いたHepG2細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TNR16 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NGFR p75 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



NGFR p75 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析